

No.	研究会名	出版年	出版月	出版日	題名	出版社	分類	媒体	分野A	分野B	URL	概要	目次	備考	連絡先氏名	連絡先所属	連絡先電子メール (※在学中に要請)
1	JACET九州・沖縄支部 ESP研究会	2016	2	28	「ESPの研究と実践」12号	JACET九州・沖縄支部ESP研究会	紀要	紙媒体	英語教育	ESP	-	JACET九州・沖縄支部ESP研究会の研究紀要「ESPの研究と実践」の第12号。	報告 2017年度活動報告 4 会員の論文 Teaching English to Japanese College Students of Nursing: Essentials in the Course Contents from EN Textbook Analyses (Akihiko Higuchi) 1 ESP教材開発の方向性—2020年からの新学習指導要領をうけて—(山内 ひさ子) 8 留学生との交流学習プログラムによる日本人大学生の動機づけ向上に関する効果(山本 佳代・荒木 瑠夫) 21 グローバル人材育成の試みについて—熊本県専門学校事例報告—(光永 武志) 33 高学部生用語彙リストラクチャーに向けたコーパスデザイン(山本 佳代) 41 信念、価値観、異文化への気づき—医学教育に英語教育が果たす新たな役割—(横山 朝三) 48 大学院EAPクラスの教授法の検討—グローバル化するキャンパスの事例から—(荒木 瑠夫) 62 会員名簿 75 研究会連絡先 77	-	荒木 瑠夫	宮崎大学	tsuki@cc.miyazaki-u.ac.jp
2	Oral Presentation and Performance(OPP)	2016	3	20	The 9th Oral Presentation & Performance (OPP2017) Event Report	-	報告書	紙媒体	人文 一般	Speaking	-	Oral Presentation & Performance (OPP) 研究会は大学生の口頭での発表技能やプレゼンテーション技能を高めること、研究会メンバー同志で指導方法等を他のメンバーと共有しあふことで教員間の連携を高めることを目的に活動しています。研究会の中心的研究活動は、年に一度開くOPPイベントで、2017年度は第9回OPPイベントを12月17日(日)、今回初めて鹿児島大学広島キャンパス大講義室で開催しました。参加者総数は、学生プレゼンター61名、指導教員総数10名(4大学)でした。上記報告書ではこの活動報告と併せ、参加したOPP研究会メンバー全員が、指導の方法、内容、工夫した点などをまとめて報告しています。	-	三熊 祥文	広島工業大学	y.mikumai@cc.it-hiroshima.ac.jp	
3	EAP研究会 (EAP調査研究特別委員会)	2017	12	11	大学での英語教育改革を考える	大修館	雑誌	紙媒体	社会科学	Curriculum ESP	-	『英語教育』第66巻、11号、pp. 34-40.	-	-	飯島 俊博	岡山大学	yijima@okkyo.ac.jp
4	EAP研究会 (EAP調査研究特別委員会)	2017	11	12	ESP Education in Japanese Universities: Past, Present and Future Prospects.	English Teachers' Association-Republic of China	Selected Papers	電子媒体	社会科学	Curriculum ESP	-	-	-	Selected Papers from the Twenty-sixth International Symposium on English Teaching, 63-73.	寺内 一	高千穂大学	hajime@kacchiko.ac.jp
5	English as a Lingua Franca研究会	2016	3	31	JACET ELF SIG Journal (Volume 2)	-	Journal	電子媒体	社会科学 人文	Curriculum Language Policy Sociolinguistics Teacher Education	https://jacetelf.wordpress.com/jacete-elf-sig-journal/	-	-	-	村田 久美子	早稲田大学	jaceteelf@gmail.com
6	教育問題研究会	2016	3	4	Language Teacher Education 言語教師教育	JACET教育問題研究会	紀要	紙媒体 ウェブ	人文	Teacher Education	http://www.waseda.jp/assoc-jacetededu/VOL5NO1.pdf	特別寄稿 CLIL 教師教育 課題と方向性 (Camel Mary Oonara/長田恵理) 世界に広がる EPOSTL-ルーマニアの場合 (Anca Mariana Populescu/中山夏恵、藤岡裕子 訳) J-POSTL 教師教育 調査 【論文】教職課程履修生の省察と成長に関する考察: 模範授業指導への「言語教師のポートフォリオ」の活用(吉住香織) 若手英語教師による学びと成長の軌跡—授業研究協議会後のインタビュー分析に基づく教師の認知(木重希子) 【実践報告】定期的なビーンキングタスクの実施と J-POSTL を活用したその評価(飯島 知美) 小学校英語教育調査 ・発刊の目的:本研究会が開設した「言語教師のポートフォリオ」(J-POSTL)の普及と、言語教師教育およびその関連分野の研究に貢献することを目的とする。 ・J-POSTLの発行:毎年2回発行する。No.1は日本語版(3月発行)、No.2は英語版(9月発行)とする。 ・投稿条件:原稿投稿者は本研究会会員とJACET会員を原則とするが、それ以外でも J-POSTL の使用や、および、言語教師教育の研究や、実践者の投稿を認める。 ・投稿方法:原則として、まず No.1 (日本語版)に投稿し、査読を受け採択された場合、英語版 (No.2 (English edition))にも投稿していただき、必ず、応募者本人、毎年11月末までに、原稿、連絡メールアドレス、原稿の概要をEメールにて下記メールアドレスにお送りください。 ・原稿投稿 No.1 (日本語版)3月発行予定(毎年1月10日必着) No.2 (English edition)7月発行予定(同年の同月10日必着。いずれも下記アドレスへメール添付で送付。 sosaki@abooka.jp	-	清田 淳一	明星大学	kyota@ge.meisei-u.ac.jp	
7	教育問題研究会	2017	11	30	行動志向の英語科教育の基礎と実践-教師は成長する-	株式会社 三修社	書籍	紙媒体	社会科学	Teacher Education	-	本書は、1998年刊行の『英語科教育の基礎と実践』の10周年の全面改訂版である。科別、体裁、章立て、文庫を一新し、内容も執筆者の進歩を重視して、一貫性として書き直した。本書は理論編、実践編、資料編の3構成になっている。理論編では、次期学習指導要領上の論点をしぼり、基本となる教師理論を分かりやすい文章、文章、研究報告などを根拠に解説している。実践編では、4技能5領域と文法・語彙・文化・技能統合型の指導について具体的に記述し、実践編では、授業計画、授業実践、評価などについて事例を出しながら解説している。資料編は、J-POSTL の自己評価記述文の全文、英語で授業を行う際の基本的な用語集、学習指導要領(学語、教科、教科)を掲載した。J-POSTL の自己評価記述文については、全章を流し内容に即して、該当する記述文を附注に掲載しており、さらに各章の「課題」でも扱っている。自己評価記述文を奪って、仲間との学びや自己の学習・実践の振り返りに役立てることが期待される。	-	久村 研	田園調布学園大学	do01411@nifty.com	
8	EAP調査研究特別委員会	2017	2	14	日本の大学における学術英語カリキュラムの現状と課題—実態調査結果を踏まえて—	京都大学高等教育研究開発推進センター	紀要	紙媒体、ウェブ	社会科学	Curriculum	http://www.higehdu.kyoto-u.ac.jp/kyou/kyou_22.php	国内4大学と英国・香港の3大学で実施されているEAPカリキュラムの実態調査をもとに、国内大学でのEAP教育における課題を報告。	-	-	飯島 俊博	岡山大学	yijima@okkyo.ac.jp
9	EAP調査研究特別委員会	2017	1	17	Exploring the EAP Curriculum in EFL and ESL Contexts	The 14th Asia TEFL International Conference and 11th FEELTA International Conference	Conference Proceedings	電子媒体	社会科学	Curriculum, ESP	https://www.eiken.or.jp/center_for_research/movies/index.html	実態調査を元に、EFL環境の日本のEAPカリキュラムと、ESL環境の香港のEAPカリキュラムの比較を行い、共通点と相違点を報告。	-	-	飯島 俊博	岡山大学	yijima@okkyo.ac.jp
10	EAP調査研究特別委員会	2016	12	1	大学英語教育の質保証に向けたEAPカリキュラム実態把握調査	公益財団法人 日本英語検定協会 英語教育研究センター	その他	ウェブ	社会科学	Curriculum, ESP	https://www.eiken.or.jp/center_for_research/movies/index.html	2014-2015年度に行われた、国内外の大学で実施されているEAPカリキュラム実態調査研究の計画概観と、インタビュー調査、アンケート調査の結果と考察を報告。	-	-	寺内 一	高千穂大学	hajime@kacchiko.ac.jp
11	ELF (English as a Lingua Franca) 研究会	2016	9	6	JACET ELF SIG Journal (SIG Journal), JACET SIG on English as a Lingua Franca (SIG website)	-	SIG Journal, SIG website	電子媒体 ウェブ	社会科学 人文	-	https://jacetelf.wordpress.com/	-	-	SIG Journal の出版日は2017年5月31日(上記、出版日曜日の付は、SIG websiteの開設日)。	村田 久美子	早稲田大学	jaceteelf@gmail.com
12	国際理解(グローバル)教育研究会	2016	3	31	2015年度国際理解(グローバル)教育研究会活動の概要の記述	-	その他	ウェブ	人文	Curriculum, Teacher Education	-	国際理解(グローバル)教育研究会では研究会を5回開いた。本年も英語教育において平和を学ぶ教材づくりと参加型学習の手法の検討に力を入れた。研究会では、代表者が翻訳した「平和をつつた世界の20人」(岩波ジュニア新書) [http://www.rock.com/jrindo.com] をもとに、その意義と教材としてどう扱うかを検討している。また、プロジェクト「フォーエー」といってNGO完全非営利に取材をして制作した映像記録(英語学習)をもとにワークショップも検討している。今後とも社会的関心を喚起するテーマや教材の検討をする。また、それらに発展されて、発信・交流を深める手だてを追究したい。	-	淺川 和也	東海学園大学	kasari@mac.com	

13	国際理解(グローバル)教育研究会	2016	3	31	2015年度国際理解(グローバル)教育研究会活動の概要の記述	-	その他	ウェブ	人文	Curriculum, Teacher Education	-	国際理解(グローバル)教育研究会では研究会を5回開催した。本年も英語教育において平成を学ぶ教材づくりと参加型学習の手法の検討に力を入れた。研究会では、代表らが翻訳した「平和をつつた世界の20人」(岩波ジュニア新書) [http://aretspace.makers.jp/mo] をもとに、その意訳と教材としてどう扱うかを検討している。また、フジテレビ「フューチャー」のNGOの先日本長に取材をして制作した映像記録(英語字幕)をもとにワークショップも検討している。今後と社会的関心を喚起するテーマや教材の検討をすすめる。また、それらに触発されて、発信・交流を深める手だてを追究したい。代表・渡川 和也 (kasan@mac.com)	-	渡川 和也	東海学園大学	kasan@mac.com	
14	オーラルコミュニケーション研究会	2016	2	10	The 20th JACET Oral Communication Festival	-	動画	電子媒体	人文	全般, Speaking, Teacher Education, Drama	-	青山学院大: Narrative Theatre: "I was there" 文楽大: Drama: "Momotaro—a Mystery?" 南山大: Readers Theatre: "Cat in the Rain" by Ernest Hemingway 常葉大: Creative Drama: "Nonfiction: Job Hunting 35 Years Ago" 名古屋外大: Drama: "A Midsummer Night's Dream by William Shakespeare adapted by Shaking the Spears 2015" 東立五女大: Speech: "Kaze! Art Exhibition 2015" 同志社女子大: Dramatic Reenactment: "Tokyo Bid for the 2020 Olympics in Buenos Aires" Creative Drama: "Culture Shock!— The First Day in Sociology 102" 神戸市外大: English Show: "The strategy of Persuasion" English Drama: "The Gift of the Mag"	指導過程や台本(一部)を収録した報告書あり、OGF DVDや報告書閲覧ご希望の方は研究会代表までお問い合わせください。	塩沢 孝子	文教大学	yasuko@shonan.bunkyo.ac.jp	
15	オーラルコミュニケーション研究会	2016	2	10	The 20th JACET Oral Communication Festival	-	OCFestivalにおける学生パフォーマンス動画	電子媒体	人文	全般, Speaking, Teacher Education, Drama	-	青山学院大: Narrative Theatre: "I was there" 文楽大: Drama: "Momotaro—a Mystery?" 南山大: Readers Theatre: "Cat in the Rain" by Ernest Hemingway 常葉大: Creative Drama: "Nonfiction: Job Hunting 35 Years Ago" 名古屋外大: Drama: "A Midsummer Night's Dream by William Shakespeare adapted by Shaking the Spears 2015" 東立五女大: Speech: "Kaze! Art Exhibition 2015" 同志社女子大: Dramatic Reenactment: "Tokyo Bid for the 2020 Olympics in Buenos Aires" Creative Drama: "Culture Shock!— The First Day in Sociology 102" 神戸市外大: English Show: "The strategy of Persuasion" English Drama: "The Gift of the Mag"	指導過程や台本(一部)を収録した報告書あり、OGF DVDや報告書閲覧ご希望の方は研究会代表までお問い合わせください。	塩沢 孝子	文教大学	yasuko@shonan.bunkyo.ac.jp	
16	ESP 関東	2015	12	31	Annual Report of JACET SIG on ESP Vol.17	三美印刷株式会社	紀要	紙媒体, 電子媒体	全般	ESP	http://jacet-esp-kanto.org/	ESPに関する論文1本、実践報告5本、ESP関東2015年度活動報告、他ESP団体活動報告1本が掲載されている。	-	藤田 裕子	東海大学	reiko-f@tokai-u.jp	
17	ESP 関東	2015	12	31	Annual Report of JACET SIG on ESP Vol.17	三美印刷株式会社	紀要	紙媒体, 電子媒体	全般	ESP	http://jacet-esp-kanto.org/	ESPに関する論文1本、実践報告5本、ESP関東2015年度活動報告、他ESP団体活動報告1本が掲載されている。	-	藤田 裕子	東海大学	reiko-f@tokai-u.jp	
18	ライティング指導研究会	2015	3	31	JACET関西支部ライティング指導研究会紀要11号	-	紀要	紙媒体	人文	Writing	-	-	山西博之	関西大学	hiyama@kansai-u.ac.jp		
19	JACETライティング研究会	2015	3	31	日本人のための英語ライティングセンター構築の可能性とその実現計画	-	報告書	紙媒体	人文	Writing	-	本書は、平成24-26年度科学研究費補助金基盤研究(C) (研究代表者 木村友保、研究課題番号4520717)「日本人のための英語ライティングセンター構築の可能性とその実現計画」の研究報告書である。本研究の目的は、研究チームが承り、日本人のための英語ライティングセンター構築の可能性とその実現計画をたてることである。この目的を遂行するために、JACETのライティング研究グループの全面的な協力を得て、日本の大学に存在するライティングセンターの調査、北米のライティングセンターの調査、分析、研究発表を行い、その研究を通じてライティングセンターの可能性を検討した結果をまとめたものである。	まきが幸 研究組織 日本のライティングセンター調査-日本人のための英語ライティングセンター構築の可能性- 【調査記録】 大阪女学院大学 東京大学駒場キャンパス 上智大学 津田塾大学 淑徳大学 国際教養大学 早稲田大学 【資料】 資料集 Informed Consent The Present Situation of Writing Centers in Japan Omura Hama and English Lessons ライティングセンターの指導方法についての提案-学校現場から得た「書くこと」の手がかり- ライティングセンターの指導方法についての提案-協同学習とチューター- 日本人のための英語ライティングセンター構築への提案 日本の英語ライティングセンターが目指すリテラシー教育 International Writing Center Association 2014 Conference Report on Marlene Scardamalia's Lecture 東京大学教養部グローバルコミュニケーションセンター訪問 あとがき	-	木村友保	名古屋外国語大学	kimura@ajnuts.ac.jp
20	Oral Presentation and Performance (OPP)	2015	3	25	The 6th Oral Presentation & Performance (OPP2014) Event Report	-	報告書	紙媒体	人文, 一般	Speaking	-	Oral Presentation & Performance (OPP) 研究会は大学生の口頭での発表技能やプレゼンテーション技能を高めること、研究会メンバー同士で指導方法等を他のメンバーと共有しあうことで教員間の連携を高めることを目的に活動しています。研究会の中核的な研究活動は、年に一度開催するOPPイベントで、2014年度は第6回OPPイベントを12月14日に安田女子大学まほろば館で開催しました。参加総数は、学生プレゼンター65名、指導教員総数10名(6大学)でした。上記報告書ではこの活動報告と併せ、参加したOPP研究会メンバー全員が、指導の方法、内容、工夫した部分などをまとめて報告しています。(全106ページ。)	報告書をご希望の方には、随分いたしますので、代表までご連絡ください。紙媒体の報告書がなくなつた場合は、PDFファイルでお送りします。	岩井 千秋	広島市立大学	iwai@int.hiroshima-u.ac.jp	

21	オーラルコミュニケーション研究会	2015	3	20	the 19th Oral Communication Festival	-	報告書とDVD	紙媒体、電子媒体	全般、社会科学、人文、education, performance studies	全般、Learner Development, Listening, SLA, Speaking, Oral communication, Performance	-	<p>13:00~13:15 Opening Choral Reading: "12 Days of Christmas" Adapted and Directed by Keizo Asano 13:15~ 13:50 Asayama Gakuin University (1) Faculty: Michio Okawa Musical: "Frozen: Area and Snow Queen" 13:50~ 14:00 Nanzan Junior College, Nanzan University Faculty: Keizo Asano Readers Theatre: "No Greater Love." Adapted from a story by Jack Canfield and Mark Victor Hansen 14:00~ 14:20 Takoha University Faculty: Tomoko Haraguchi Creative Drama: "CNN Interview: Special Edition" 14:20~ 14:40 Tokyo Polytechnic University Faculty: Jitsuko Kusunose Presentations: "Kougei Art Exhibition" 14:50~ 15:30 Bunkyo University Faculty: Yessho Shiozawa Creative Drama: "Real Snow White" 15:30~ 15:45 Nihon University Faculty: Takashi Kanazashi English Songs: "Hey Jude" "Single Bells" 15:45~ 16:15 Kobe City University of Foreign Studies Faculty: Kazuhiro Nomura Creative Drama: "MOMOTARO~Fight for What?~" English Drama: "English Babuji" 16:25~ 17:00 Asayama Gakuin University (2) Faculty: Michio Okawa Narrative Theatre: "Hu" 17:00~ 17:05 Faculty Performance by Kazuhiro Nomura Digital Storytelling: "Twas the Night Before Christmas" by Glennean O'Malley</p> <p>2014年12月13日に開催された、本研究会主催の英語パフォーマンス発表会である。第19回オーラルコミュニケーションフェスティバル(OOCF)の様子を収録したDVDは常道通夜や発表会本などをまとめた報告書、OOCFは研究会メンバーが指導する学生ら及び教員のパフォーマンス大会で、本大会には文部科学省、青山学院大学、早稲田大学、神戸市外国語大学、南山大学、日本大学、東亜工芸大学が参加し、創作劇やスピーチ、朗読など様々な発表が行われ、相互評価があった。</p>	<p>Oral Communication Festival(OOCF)はぜひ報告書、DVDに興味のある方は本研究会代表の塩沢もくは副代表の野村にお問い合わせください。</p> <p>野村和宏(神戸市外大) kaz_nomura@inst.kobe-u.ac.jp</p> <p>なお、OOCFは1948年度より毎年12月に開催している(本年度の開催日、場所は未定、決定次第公表)ので、興味のある方は是非是非見学にお出向ください。</p> <p>なお、これまでの本研究会の研究、実証は下記の書籍にまとめられている。 「オーラルコミュニケーションの理論と実践」2002年 三修社(2003年度JACET賞受賞賞状) 「オーラルコミュニケーションの新しい地平」2013年 文科大学出版事務所</p>	塩沢もく	文科大学国際学館	yasuho[at]shonan.bunkyo.ac.jp	
22	教育問題研究会	2015	3	15	Language Teacher Education Vol.2 No.1	-	記実	紙媒体、電子媒体、ウェブ	人文	Teacher Education	<a href="http://www.waseda.jp/essoc/jacetnews/JournalList.htm">http://www.waseda.jp/essoc/jacetnews/JournalList.htm</a>	<p>特別記録 ・生涯を通じての学習(2015年1月31日最終講義抄録)(神保尚武) ・CEFR/CEFR-Jの言語共通参照レベル(A1-C2)を導入する言語教育の課題(2014年9月14日夏期公開研究会基調講演抄録)(ジャンクワートベック、塩 晋也訳)</p> <p>J-POSTL関連 【論文】英語科教法の授業におけるJ-POSTLの統合的活用法—授業力への内省を深めるために—(清田 洋一) 【論文】中学校英語検定教科書に見られる異文化間コミュニケーション能力(言語と文化の複眼的アプローチのための参照枠)と用いた分析を通して—(中山寛、栗田文子) 【研究ノート】英語科教職課程履修生による各報—言語教師のポートフォリオ(J-POSTL)を用いて—(木重希子) 【実践報告】小学校教職志望学生にもたらす小学校英語教育実習の効果に関する調査研究—言語教師のポートフォリオ使用の取り組みから—(末田 俊紀子) 外国語教育関連 【論文】海外語学研修における基本的心理的充足と英語学習に対する自己効力感(塩晋也・山口高橋) 【論文】海外語学研修が大学生の自律学習能力と英語学習に対する自己効力感(山口高橋・塩晋也)</p> <p>書評 『グローバル人材再考—言語と教育から日本の国際化を考える』(西山隆行・平徳英編集 くらし出版(砂岡和子)資料 北海道教育問題研究会等学校スーパードラゴンハイスクールについて(後泉達明)記録 ・2014年度教育問題研究会会員の学会発表記録 / 言語教育エキスパート2015プログラム Language + Teacher Education言語教師教育 原稿投稿要領</p>	-	久村 研	北海道教育大学札幌校	dq0141[at]ifty.com	
23	OOR 研究会	2015	3	10	Combining MOLT perspectives to OOLT schemes in assessing instructional events	Research Bulletin of English Teaching	記実	紙媒体	人文	Classroom Observation	-	<p>In this study, to clarify how instruction can enhance motivation in English language learners, we analyzed three teachers' classes at a university and examined their characteristics using the Motivation Orientation of Language Teaching (MOLT) (Guiloteaux &amp; Dornyei, 2008) and the Communicative Orientation of Language Teaching (COLT) (Frohlich, Spada &amp; Allen, 1985). The results of this study indicated that the MOLT scheme was valid for a university setting. Furthermore, it was found that the MOLT scheme was capable of detecting differences between the instructors; therefore, this observation scheme could be used as a self-awareness raising tool for teachers in their use of motivational strategies. Lastly, it was found that when OOLT evaluations were low, the teacher conduct MOLT evaluations were also low.</p>	-	志村 昭輔	北海道教育大学札幌校	RXX03643[at]ifty.com	
24	JACET SIG on Academic & Teaching Portfolio	2015	3	6	Website	-	ホームページ	ウェブ	一般	Teacher & Faculty Development	<a href="http://web008.chime-u.ac.jp/~nakayama/jacet-sig/edtp/index.html">http://web008.chime-u.ac.jp/~nakayama/jacet-sig/edtp/index.html</a>	-	-	中山寛	筑波大学	nakayama[at]hime-u.ac.jp	
25	リスニング研究会	2015	2	12	Power-UP English <Pre-Intermediate>	青雲堂	書籍	紙媒体	人文	全般	<a href="http://www.nanun-do.co.jp/">http://www.nanun-do.co.jp/</a>	<p>Power-Up English シリーズの第5作目にあたり、英語の聴解力、読解力、文法力を効果的に向上させることを意図した総合英語教材。レベルは【基礎編】と【中級編】の間を設定、多岐にわたる話題で学習者の関心を引くような内容を盛り込んだ。また、英語のリズムを意識した音読練習、Appendixで英語らしい発音をもとめて応じて、学習者が音声言語のリズムに対する関心や認識を高めることを目指した。語彙・文法の復習を必ず付の教授用資料完備。</p>	-	藤田 洋子	06-8853-8556	brisa4050[at]a2.so-net.ne.jp	
26	ESP関連	2014	12	31	Annual Report of JACET-SIG on ESP Vol.16	-	記実	紙媒体、電子媒体	全般	ESP	<a href="http://jacet-esp-kanto.org/annual-journal/">http://jacet-esp-kanto.org/annual-journal/</a>	<p>ESPに関する論文や研究ノートを全国の会員から集め掲載、毎年出版しており、査読も付いている。本年度は第16号となった。</p>	-	藤田 洋子	東海大学	reiko-[at]tokai-u.jp	
27	言語教師認知研究会	2014	10	1	JACET 言語教師認知研究会 研究集録 2013	-	記実	ウェブ	人文	Curriculum, SLA, Sociolinguistics, Teacher Education, Teacher Cognition	<a href="http://www3.tokai.or.jp/sanagu/JACETLTCbulletin2014.pdf">http://www3.tokai.or.jp/sanagu/JACETLTCbulletin2014.pdf</a>	<p>2013-2014年に発表された研究発表をもとにした言語教師認知に関する研究集録、査読あり。</p>	<p>目次 はじめに…………… 言語教師認知研究会記録…………… Implementing Research Orientation and Integrating Curriculum in Teacher Education? A Case Example of Foreign Language Teacher Education in a Finnish University Riitta JAATINEN…………… Emerging Self-Identities: Foreign Language Learning, Experiential Capital and Emotions- A Narrative Oriented Study Masako MITSUMORI…………… Practical Activities Based on Students' Personality Masa TSUNOYASU …… 43 A Brief Introduction to Cooperative Learning for English Teachers English科職員養成における省察の意味とは何か Rumiho TSUBONO…………… 50 *木重希子…………… 60 授業研究における教師の学習過程授業後協議会に寄って 坂本美定……………75</p>	言語教師認知研究会ウェブ <a href="http://jaetsignote.blogspot.jp">http://jaetsignote.blogspot.jp</a>	坂本 寛	東洋英和女学院大学	sasajima[at]soyoenwa.ac.jp

28	教育問題研究会	2014	8	5	Language Teacher Education 言語教師教育 Vol.1 No.2	-	記事	紙媒体、電子媒体、ウェブ	人文	Teacher Education	http://www.waseda.jp/assoc-jactenedu/JournalList.htm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発行の目的:本研究会が開発した「言語教師のポートフォリオ」(J-POSTL)の普及と、言語教師教育およびその関連分野の研究に貢献することを目的とする。</li> <li>・ジャーナルの発行:毎年2回発行する。No.1は日本語版(3月発行)、No.2は英語版(8月発行)とする。</li> <li>・投稿条件:原稿投稿者は本研究会会員とJACET会員を原則とするが、それ以外でもJ-POSTLの使用者、および、言語教師教育の研究者・実践者の投稿を認める。</li> <li>・投稿方法:原則として、まずNo.1(日本語版)に投稿し、査読を受けて採用された場合、英語版(English edition)にも投稿していただきます。</li> <li>・応募申込み:毎年11月末までに、氏名、所属、連絡先(メールアドレス)、原稿の概要をEメールにて下記メールアドレスにお送りください。</li> <li>・原稿締切:No.1(日本語版)(3月発行予定)/毎年1月10日必着/No.2(English edition)(7月発行予定)/同年の5月31日必着。いずれも下記アドレスへメール添付で送付。山口高徳 YAMAGUCHI Takane &lt;tkane@aoni.waseda.jp&gt;</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Foreword (Hisatake Jimbo, Ken Hisamura)</li> <li>・J-POSTL-Related Articles</li> <li>・J-POSTL: Specification of Descriptors and Strategies for Implementation Appendix: J-POSTL'Self-assessment Descriptors (Ken Hisamura)</li> <li>・Overseas Experience and Confidence in Teaching Culture among English Language Teachers in Japan (Ken Hisamura)</li> <li>・Visit to Austria: International Conferences at ECML in Graz and School Visits in Vienna (Hisatake Jimbo, Ken Hisamura, Shien Sakai, Masachika Ishida, Yoichi Kyota, Akiko Takagi) from Inamura Yukie (Endo)</li> <li>・Contributed Articles</li> <li>・A Study of Japanese Elementary School Teachers' Perceptions of Foreign Language Activities (Rie Adachi, Shien Sakai, Kazumi Akazawa)</li> <li>・Can-do descriptors which improve English ability to cope with college entrance examinations (Shien Sakai) (Attachment)</li> <li>・Flaming Record of a Foreign Language Activity at an Elementary School (Junji Yoshura)</li> </ul>	-	久村 研	田園諺布学園大学	doi:10.14131/ja3nifty.com
29	教育問題研究会	2014	7	20	Language Teacher Education 言語教師教育 Vol.1 No.1	-	記事	紙媒体、電子媒体、ウェブ	人文	Teacher Education	http://www.waseda.jp/assoc-jactenedu/JournalList.htm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発行の目的:本研究会が開発した「言語教師のポートフォリオ」(J-POSTL)の普及と、言語教師教育およびその関連分野の研究に貢献することを目的とする。</li> <li>・ジャーナルの発行:毎年2回発行する。No.1は日本語版(3月発行)、No.2は英語版(8月発行)とする。</li> <li>・投稿条件:原稿投稿者は本研究会会員とJACET会員を原則とするが、それ以外でもJ-POSTLの使用者、および、言語教師教育の研究者・実践者の投稿を認める。</li> <li>・投稿方法:原則として、まずNo.1(日本語版)に投稿し、査読を受けて採用された場合、英語版(English edition)にも投稿していただきます。</li> <li>・応募申込み:毎年11月末までに、氏名、所属、連絡先(メールアドレス)、原稿の概要をEメールにて下記メールアドレスにお送りください。</li> <li>・原稿締切:No.1(日本語版)(3月発行予定)/毎年1月10日必着/No.2(English edition)(7月発行予定)/同年の5月31日必着。いずれも下記アドレスへメール添付で送付。山口高徳 YAMAGUCHI Takane &lt;tkane@aoni.waseda.jp&gt;</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭言(神保尚武、久村 研)</li> <li>・J-POSTL関連</li> <li>・言語教師のポートフォリオ:完成から普及へ(久村 研)</li> <li>・雑誌「J-POSTL」自己評価記論文</li> <li>・英語教師の海外経験と異文化間教育への自信-全国調査分析結果からの示唆-(久村 研)</li> <li>・英語教育関連</li> <li>・小学校外国語活動指導者意識調査結果(安達理恵、酒井志延、相澤一美)</li> <li>・大学入試に対応する英語力とCan-doリスト(酒井志延)</li> </ul>	-	久村 研	田園諺布学園大学	doi:10.14121/ja3nifty.com
30	大学英語教育学会(JACET) Critical Thinking 研究会	2014	6	30	クリティカル・シンキングと大学英語教育?	-	報告書	電子媒体	社会科学、人文	Critical Thinking	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究会有志による科学研究費基礎研究B(2010-2013年度)の研究結果を記載している。</li> </ul>	-	大野秀樹	大東文化大学	jaectc1@yahoo.co.jp	
31	教育問題研究会	2014	3	9	言語教師のポートフォリオ	-	ポートフォリオ	紙媒体、電子媒体、ウェブ	人文	Teacher Education	http://www.waseda.jp/assoc-jactenedu/JPOSTL.htm	<ul style="list-style-type: none"> <li>本書は、原作の「ヨーロッパ言語教育履修生ポートフォリオ」(the European Portfolio for Student Teachers of Languages)(Newby et al. 2007)を基に訳出したものではなく、日本の言語教育環境でも実用できるよりに調整したもので、ヨーロッパ評議会(Council of Europe)の承認を得ています。EPOSTLから翻訳する概念として、「行動志向の言語観(Action-oriented view of language)」「生涯学習(Life-long learning)などがあります。行動志向の言語観では、言語教育は、知識・技能・態度・能力の4つによる、人同士の交流(インタラクション)を中心としたコミュニケーションの場(QLT)が建設的な教材と考へられています。一方、英語学習の長期的目標や、内的動機付けなどに関する観点が生徒学習、言い換えると「学び方を身につけること(learning to learn)」です。本書は、主に次の5点の目的を持つポートフォリオです。</li> <li>・英語教師に求められる授業力を明示する</li> <li>・授業力とそれを支える基礎知識・技術の振り返りを促す</li> <li>・同僚や指導者との話し合いを促進する</li> <li>・自分の授業の自己評価力を高める</li> <li>・成長を記録する手段を提供する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教師のポートフォリオ(全編)について</li> <li>・ヨーロッパ言語教育履修生ポートフォリオ(EPOSTL)の序論本書の使い方</li> <li>・自分自身について</li> <li>・自己評価記述文</li> <li>・? 教育環境? 教授法? 教授資料の入手先? 授業計画? 授業実践? 自律学習</li> <li>・? 評価</li> <li>・? 学習・実践記録</li> <li>・用語解説</li> <li>・利用者ガイド</li> </ul>	-	久村 研	田園諺布学園大学	doi:10.14131/ja3nifty.com